

地域別懇談会の実施方法について

1 地域別懇談会の実施

1) 目的

- ・都市計画マスタープランの地域別構想の検討にあたり、作成の前段階で、地域の実情や都市計画に関するニーズを把握する。
- ・地域のまちづくりに関する考え方や構想をお聴きし、都市計画マスタープランへ反映させる。

2) 対象者

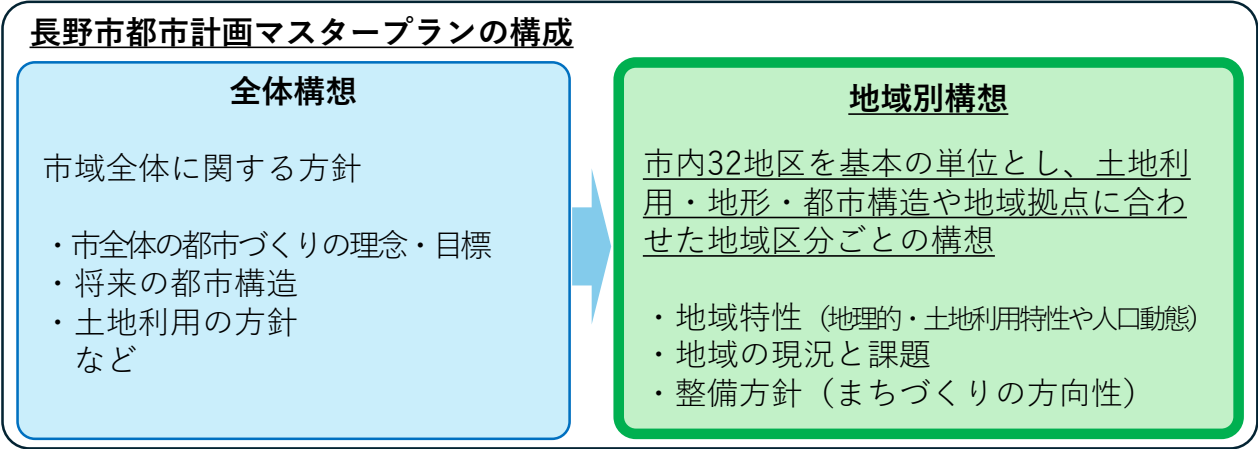
- ・地区の住民自治やまちづくり活動を行う組織であり、地区を代表する住民によって構成される「住民自治協議会」と地域別構想に係る懇談を行う。
- ・地域別懇談会は、市内全32地区の住民自治協議会を訪問し意見交換する。

※住民自治協議会：地区全体で対応しなければならない課題に対し、地区住民の参加、各種団体との連携によって、地区の特性を活かしたまちづくり活動を行う住民の自治組織。

3) 懇談会の内容

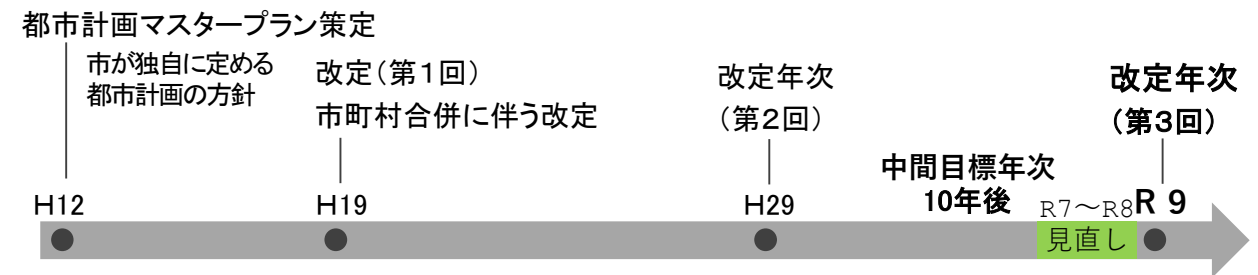
○ 長野市都市計画マスタープランの概要説明

- ・「長野市都市計画マスタープラン」は、都市計画に関する基本的な方針を定めた計画。
- ・概ね20年後の都市の姿を見据え、地域特性に即し将来像を描いた、まちづくりの指針。
- ・市が、住民の意見を反映し、都市づくりの将来ビジョンや地域ごとのあるべき「まち」の姿を定めている。



- ・市では、社会情勢の変化を踏まえて都市計画マスタープランの見直しを行っている。
- ・平成29年に改定した現在のプランの中間目標年次となる、令和9年の改定に向け、現在、長野市都市計画審議会に附属する改定専門部会を設置し、改定作業を進めている。

[これまでの改定]



○ 地域別構想に係る意見交換

- ・市のまちづくりの方向性を伝える。
（次期都市計画マスタープランの第1編「全体構想」の概要）
- ・地区の現状について伝える。
（人口動態、土地利用状況、市民意識調査の各地区の結果など）
- ・現行都市計画マスタープランの“地域ごとの目標”、“整備方針図”を示し、「10年前から変化したこと・次期計画に位置付けたいこと」について、意見交換する。
- ・住民自治協議会で作成した独自のまちづくり構想等があれば、方針や考えを聴き、地域別構想へ反映する。

※大きな観点からのみでなく、今回の計画改定でポイントの一つとなる、“移動手段の確保”・“防災”に関して、参考になりそうな意見を引き出せるよう懇談を行う。

2 地域別懇談会のスケジュール

